

国道10号

豊前拡幅

平成25年8月9日

国土交通省 九州地方整備局

目 次

1. 事業の概要	道路-1- 1
(1) 国道 10 号の概要	道路-1- 1
(2) 豊前拡幅の概要	道路-1- 2
2. 事業の必要性	道路-1- 3
(1) 事業を巡る社会情勢等の変化	道路-1- 3
(2) 事業の効果・必要性	道路-1- 8
(3) 事業の投資効果	道路-1-16
(4) 事業の進捗状況	道路-1-17
3. 事業進捗の見込み	道路-1-19
(1) 今後の事業の見通し	道路-1-19
(2) 地域の協力体制	道路-1-19
(3) 環境・景観への取り組み状況	道路-1-20
4. コスト縮減や代替案立案等	道路-1-21
5. 対応方針（原案）	道路-1-21
巻末資料	道路-1-22

1. 事業の概要

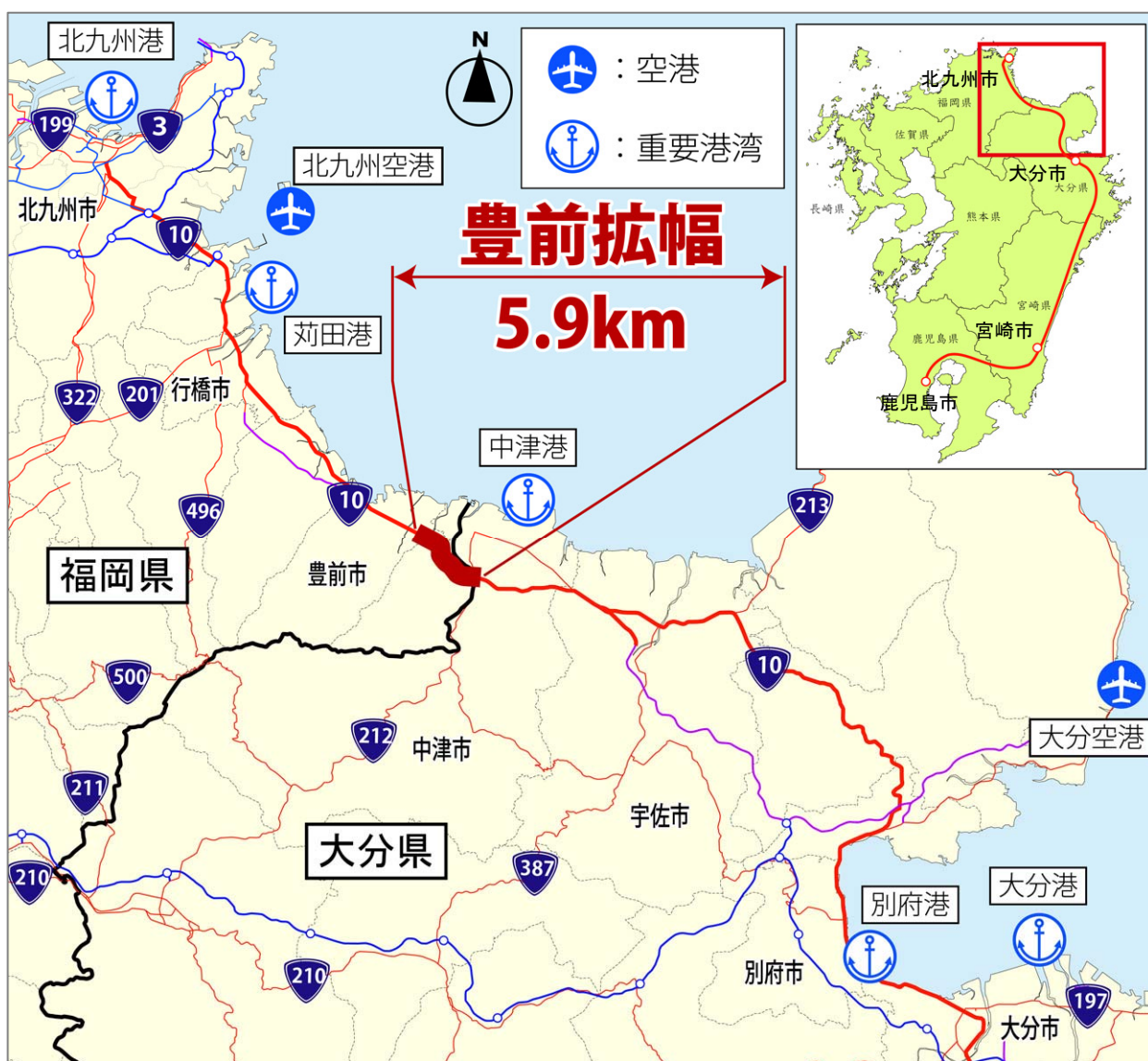
(1) 国道10号の概要

国道10号は、北九州市門司区を起点とし、大分市、宮崎市を經由して鹿児島市に至る総延長約527kmの主要幹線道路である。

本路線は、九州の東側に位置する主要都市や空港・重要港湾などの交通拠点を相互に連絡しており、人流・物流基盤として重要な役割を担う路線である。

本路線のうち、豊前市から中津市間では近年、自動車関連企業の集積が進展しており、交通需要の増大に伴う交通渋滞の慢性化や沿線地域の交通環境悪化が危惧されている。

このような状況にある国道10号豊前市付近では、交通混雑の緩和や交通安全性の向上を図る道路整備が求められている。



(2) 豊前拡幅の概要

1) 概要

本事業は、国道10号豊前地区が平成6年度に暫定2車線で供用されたが、近年の交通量の増加により、交通混雑が著しい状況にある。また、観光目的の休日交通も非常に多く、周辺地域の生活交通に支障をきたしている。このため、交通混雑の緩和など交通の円滑化を図るとともに、地域の活性化に寄与することを目的とした事業である。

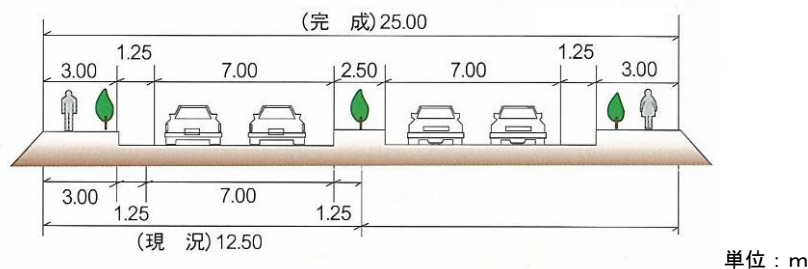


▲ 路線概要図

2) 計画諸元

事業名		国道10号豊前拡幅
区間	起点	福岡県豊前市大字高田
	終点	大分県中津市三光佐知
延長	員	L=5.9km
幅員		W=25.0m
道路規格		第3種第1級
設計速度		V=80km/h
車線数		4車線
計画交通量		①26,100台/日 ②17,600台/日 ③20,000台/日

3) 標準断面図



単位：m

▲ 標準断面図（完成4車線）

2. 事業の必要性

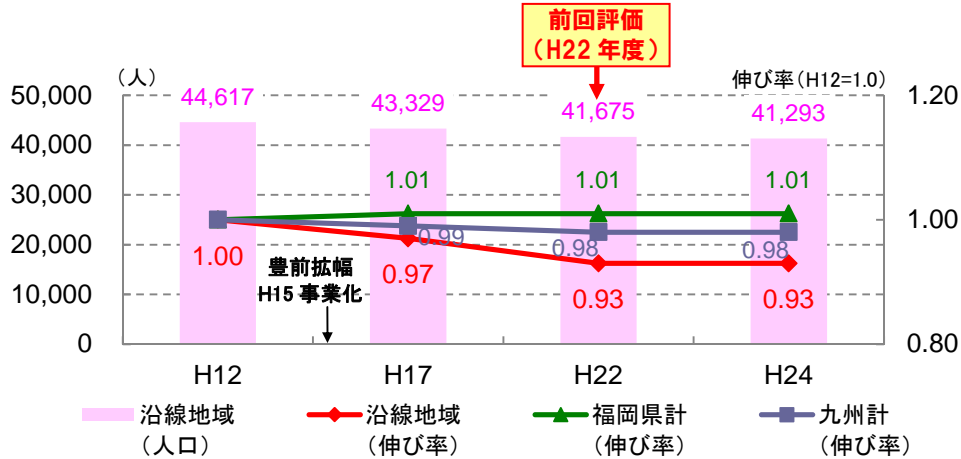
(1) 事業を巡る社会情勢等の変化

1) 地域の概況

①人口

福岡県の県人口が横ばい状態にある中で、事業区間沿線地域の人口は、H15年度の事業化以降減少傾向にあったが、前回評価（H22年度）以降は概ね横ばい状態にある。

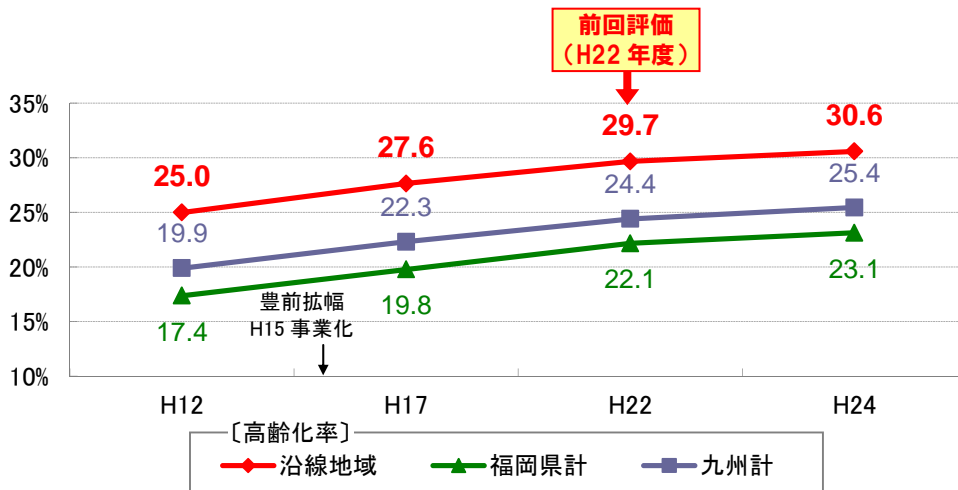
また、沿線地域の高齢化率（H24）は既に30%を超過しており、福岡県平均や九州平均を大きく上回る勢いで高齢化が進行している。



注) 沿線地域：豊前市、上毛町、吉富町の合計

資料：国勢調査（H12～H22）
市町村別年齢別推計人口（H24）
〔福岡県 H24. 10. 1 現在〕

▲ 人口の推移



注) 沿線地域：豊前市、上毛町、吉富町の合計

資料：国勢調査（H12～H22）
市町村別年齢別推計人口（H24）
〔福岡県 H24. 10. 1 現在〕

▲ 高齢化率の推移

■ 居住人口及び65歳以上人口の推移

	居住人口(人)				高齢人口(人)			
	H12	H17	H22	H24	H12	H17	H22	H24
沿線地域	44,617	43,329	41,675	41,293	11,147	11,975	12,362	12,627
福岡県計	5,015,699	5,049,908	5,071,968	5,085,368	870,290	997,798	1,123,376	1,175,735
九州計	13,445,561	13,352,934	13,203,965	13,144,000	2,672,207	2,977,920	3,221,771	3,343,000

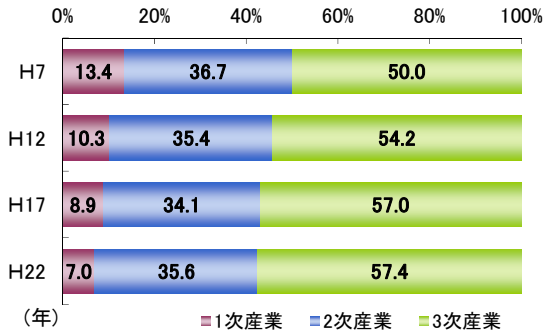
注) 沿線地域：豊前市、上毛町、吉富町の合計

資料：国勢調査（H12～H22）
市町村別年齢別推計人口（H24）
〔福岡県 H24. 10. 1 現在〕

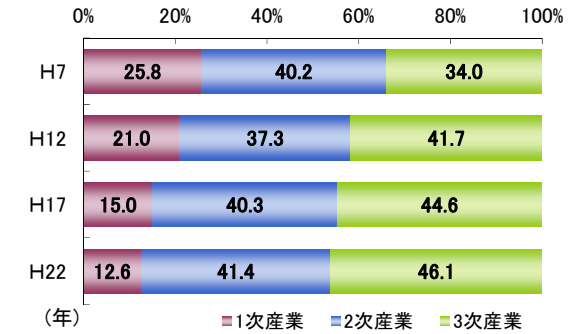
②産業

福岡県、九州全体では、近年第2次産業から第3次産業へ就業形態がシフトしている中、沿線地域では自動車メーカーの新規進出等もあり、第2次産業が概ね横ばいで推移している。

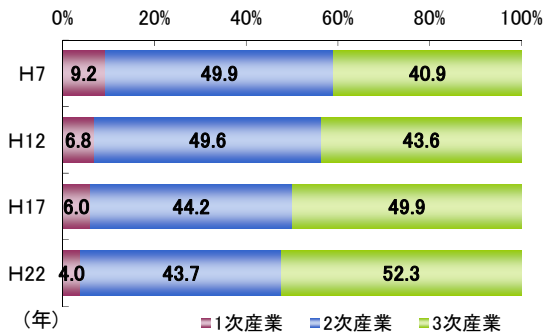
豊前市



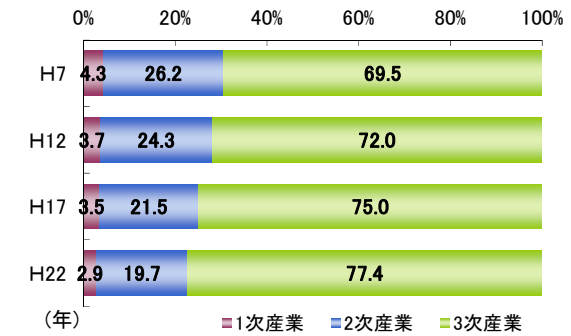
上毛町



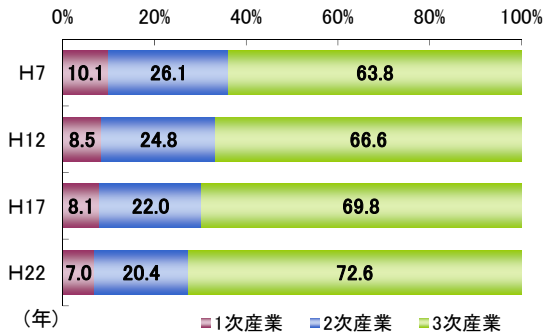
吉富町



福岡県



九州計



資料：国勢調査

▲ 産業別従業者構成比の推移

■ 産業別従業者数の推移

	1次産業	2次産業	3次産業	総数
H7	1,840	5,038	6,867	13,745
H12	1,353	4,639	7,097	13,089
H17	1,136	4,345	7,254	12,735
H22	880	4,454	7,182	12,516

	1次産業	2次産業	3次産業	総数
H7	298	1,608	1,318	3,224
H12	200	1,450	1,273	2,923
H17	147	1,084	1,224	2,455
H22	93	1,015	1,216	2,324

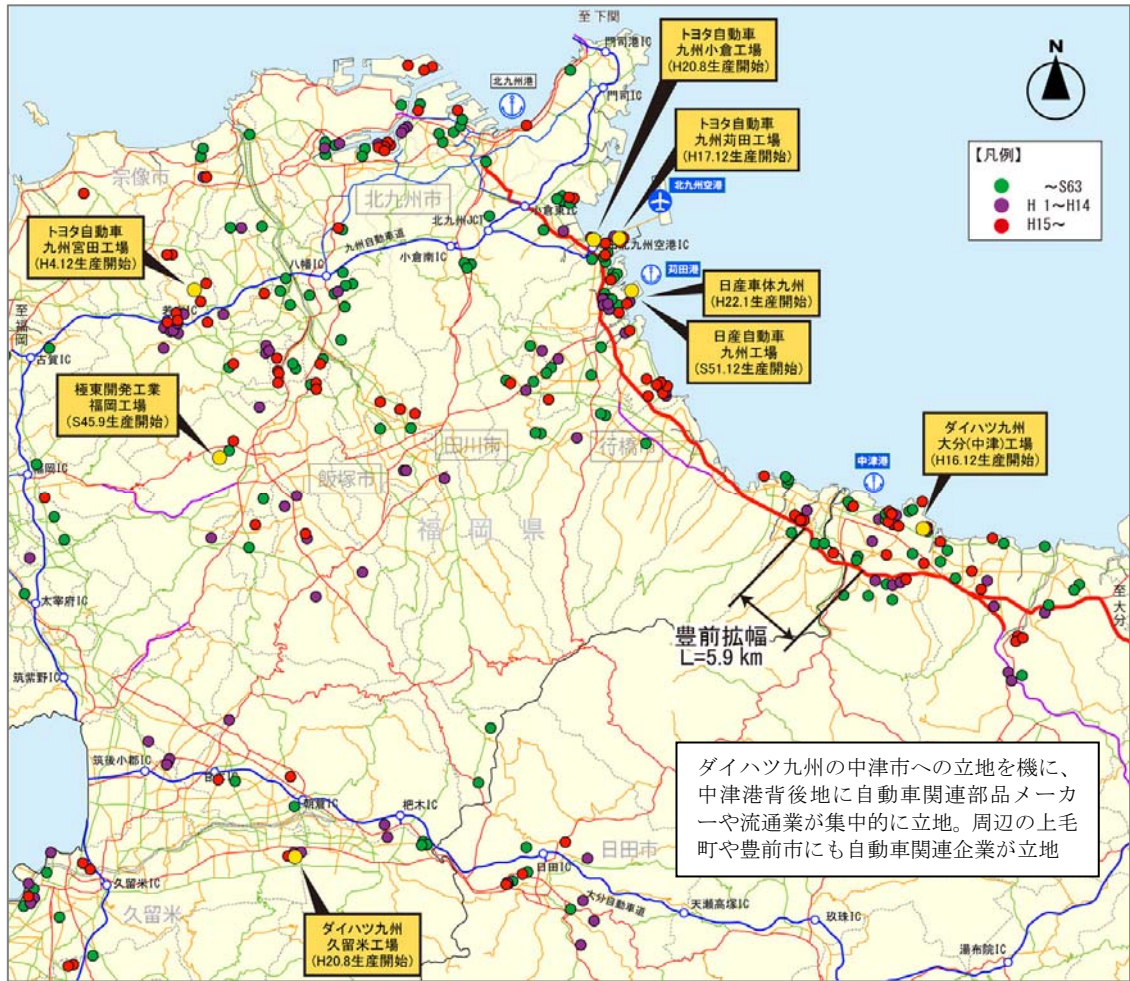
	1次産業	2次産業	3次産業	総数
H7	100,952	612,234	1,623,292	2,336,478
H12	86,545	565,761	1,675,592	2,327,898
H17	81,128	494,042	1,722,066	2,297,236
H22	65,740	446,172	1,752,639	2,264,551

	1次産業	2次産業	3次産業	総数
H7	794	1,237	1,047	3,078
H12	647	1,149	1,286	3,082
H17	500	1,342	1,485	3,327
H22	370	1,220	1,358	2,948

	1次産業	2次産業	3次産業	総数
H7	646,161	1,675,814	4,089,200	6,411,175
H12	539,793	1,567,303	4,208,436	6,315,532
H17	505,340	1,367,099	4,328,764	6,201,203
H22	418,232	1,227,949	4,364,743	6,010,924

資料：国勢調査

【参考】豊前拡幅事業化（H15）前後における自動車関連企業の立地動向

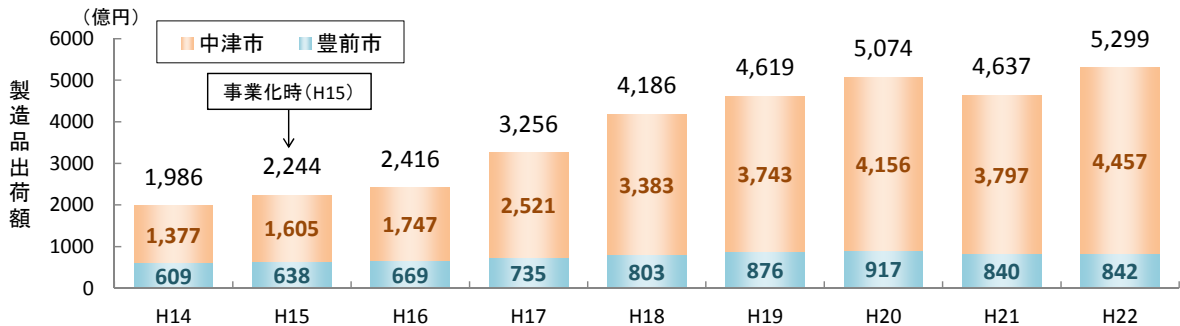


▲ 自動車関連企業の立地状況

資料：九州の工業立地情報HP(九州経済産業局)

【参考】豊前市、中津市の製造品出荷額の推移

企業集積が進展している豊前市、中津市では、豊前拡幅の事業化以降、製造品出荷額が増加傾向にあり、H22年時点では、H14年に比べ約3,313億円の増加（両市計）となっている。



■ 製造品出荷額の推移

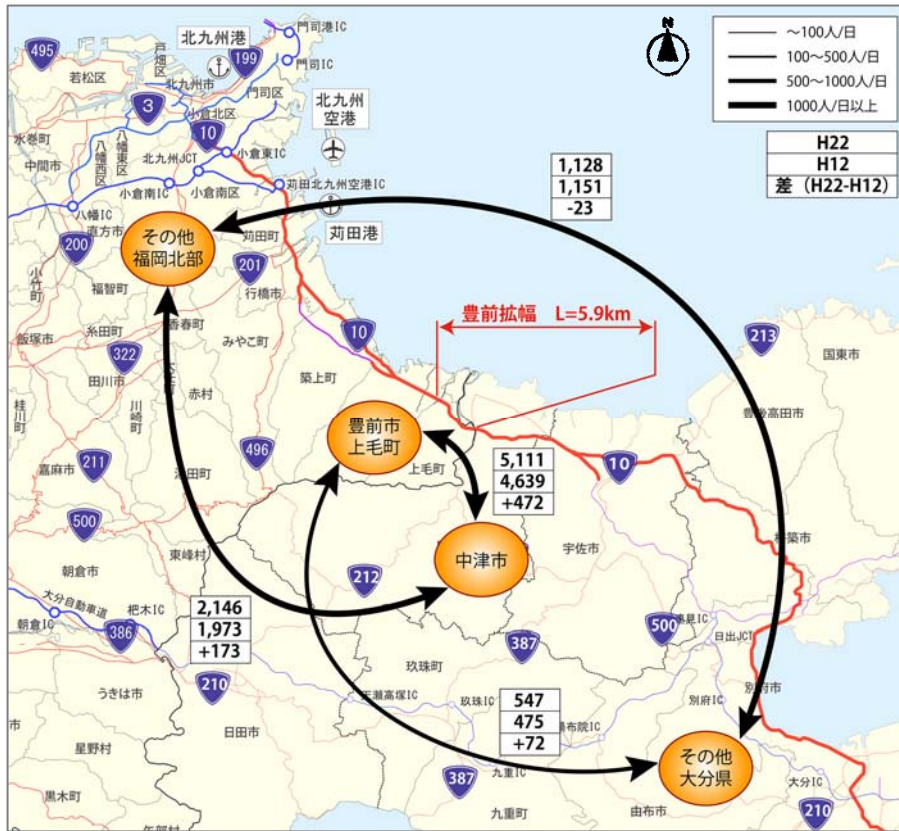
単位：100万円

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
豊前市	60,881	63,814	66,910	73,517	80,262	87,615	91,724	83,961	84,228
中津市	137,731	160,536	174,736	252,100	338,298	374,266	415,645	379,708	445,669
両市計	198,612	224,350	241,646	325,617	418,560	461,881	507,369	463,669	529,897

資料：工業統計

③通勤・通学流動の変化

事業区間が位置する福岡一大分県境部を跨ぐ通勤・通学流動は最近 10 年間で増加傾向にあり、特に「豊前市・上毛町～中津市間」の流動は約 470 人も増加している。

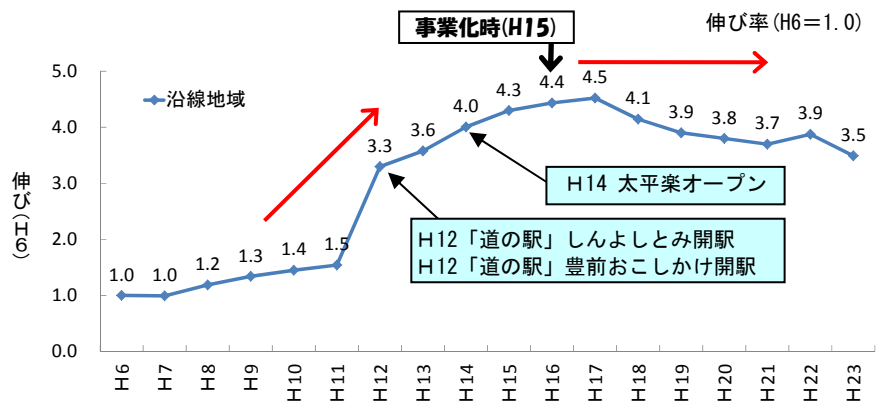


資料：国勢調査

▲ 福岡一大分県境部を跨ぐ通勤・通学流動の変化（H12⇒H22）

④観光客数の変化

上毛町は、沿線の集客施設である「道の駅しんよしとみ」の開駅（H12年）以降観光客数が急増しているが、事業化時（H15）以降は、横ばい状態である。



資料：全国観光動向調査

▲ 観光客数の推移

■ 観光客数の推移

	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	
観光入込客数(千人)	豊前市	839	829	917	932	908	974	1,983	1,942	1,962	2,113	2,397	2,496	2,181	2,035	2,017	1,940	1,998	1,689
	上毛町	37	41	123	242	362	376	907	1,193	1,548	1,654	1,488	1,465	1,450	1,382	1,312	1,299	1,398	1,368
	沿線地域	876	870	1,040	1,174	1,270	1,350	2,890	3,135	3,510	3,767	3,885	3,961	3,631	3,417	3,329	3,239	3,396	3,057
沿線地域の伸び(対H6年)	1.0	1.0	1.2	1.3	1.4	1.5	3.3	3.6	4.0	4.3	4.4	4.5	4.1	3.9	3.8	3.7	3.9	3.5	

【参考】道の駅「豊前おこしかけ」利用者数の推移

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
観光入込客数	1,076,500	1,205,700	1,516,500	1,533,300	1,307,520	1,278,420	1,275,406	1,272,339	1,331,182
増減量(対H14)	0	129,200	440,000	456,800	231,020	201,920	198,906	195,839	254,682

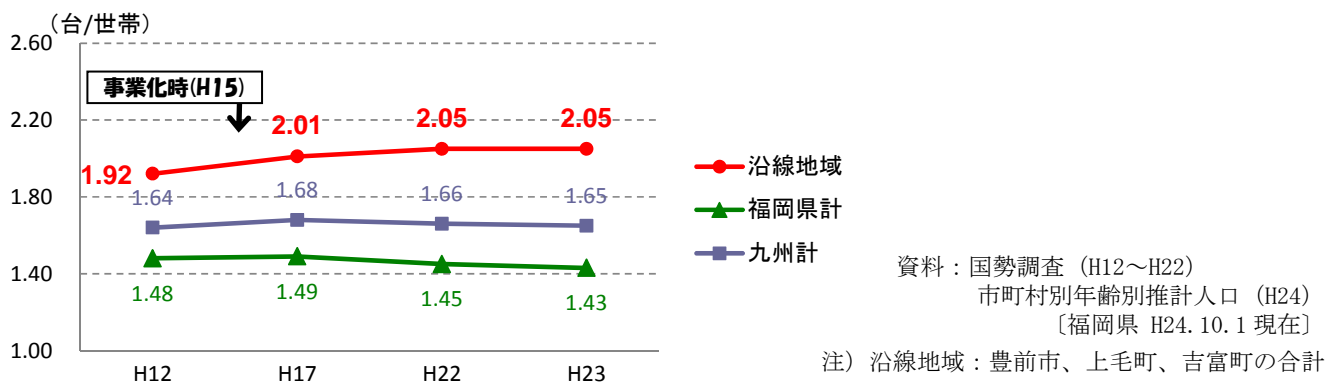
単位：人

資料：全国観光動向調査

2) 交通状況の変化

①自動車保有台数

沿線地域の居住人口に対する自動車保有台数は、事業化時(H15)以降も増加傾向にあり、福岡県及び九州平均を上回って推移している。



▲ 一世帯あたりの自動車保有台数の推移

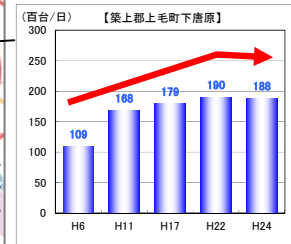
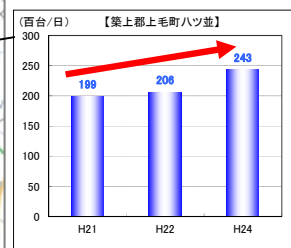
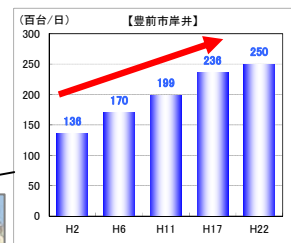
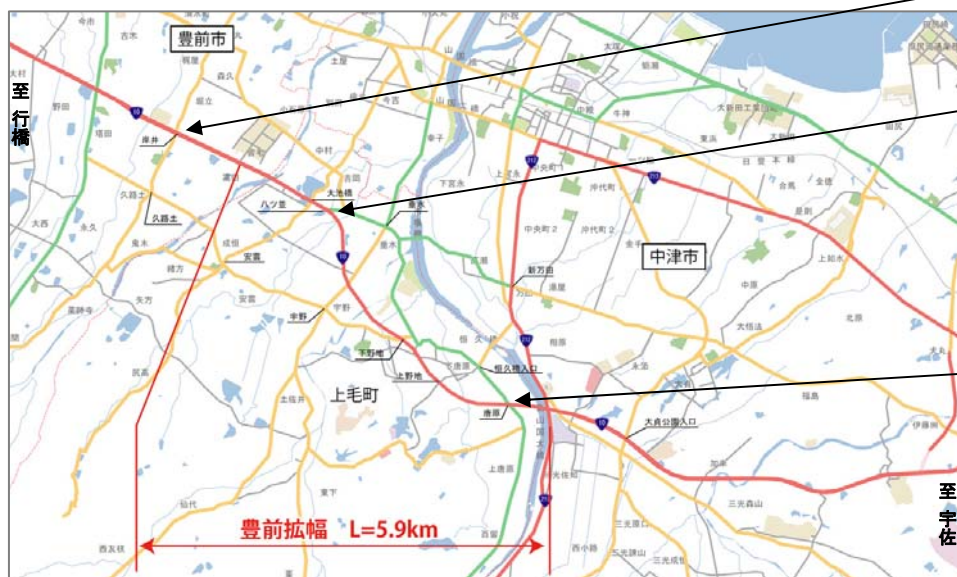
■ 自動車保有台数と世帯数の推移

	世帯数				自動車保有台数(台)			
	H12	H17	H22	H23	H12	H17	H22	H23
沿線地域	15,306	15,523	15,583	15,661	29,432	31,250	31,936	32,038
福岡県計	1,917,721	2,009,911	2,110,468	2,135,433	2,831,214	2,995,542	3,052,906	3,060,355
九州計	4,997,557	5,164,018	5,324,342	5,371,199	8,184,782	8,693,505	8,835,862	8,851,085

資料：市町村別自動車保有車両数
市町村別軽自動車車両数

②交通量の変化

豊前バイパスが全線暫定2車線で供用した平成6年以降、当該地域の交通量は増加傾向にあり、当該事業が事業化された平成15年以降も引き続き増加傾向にある。

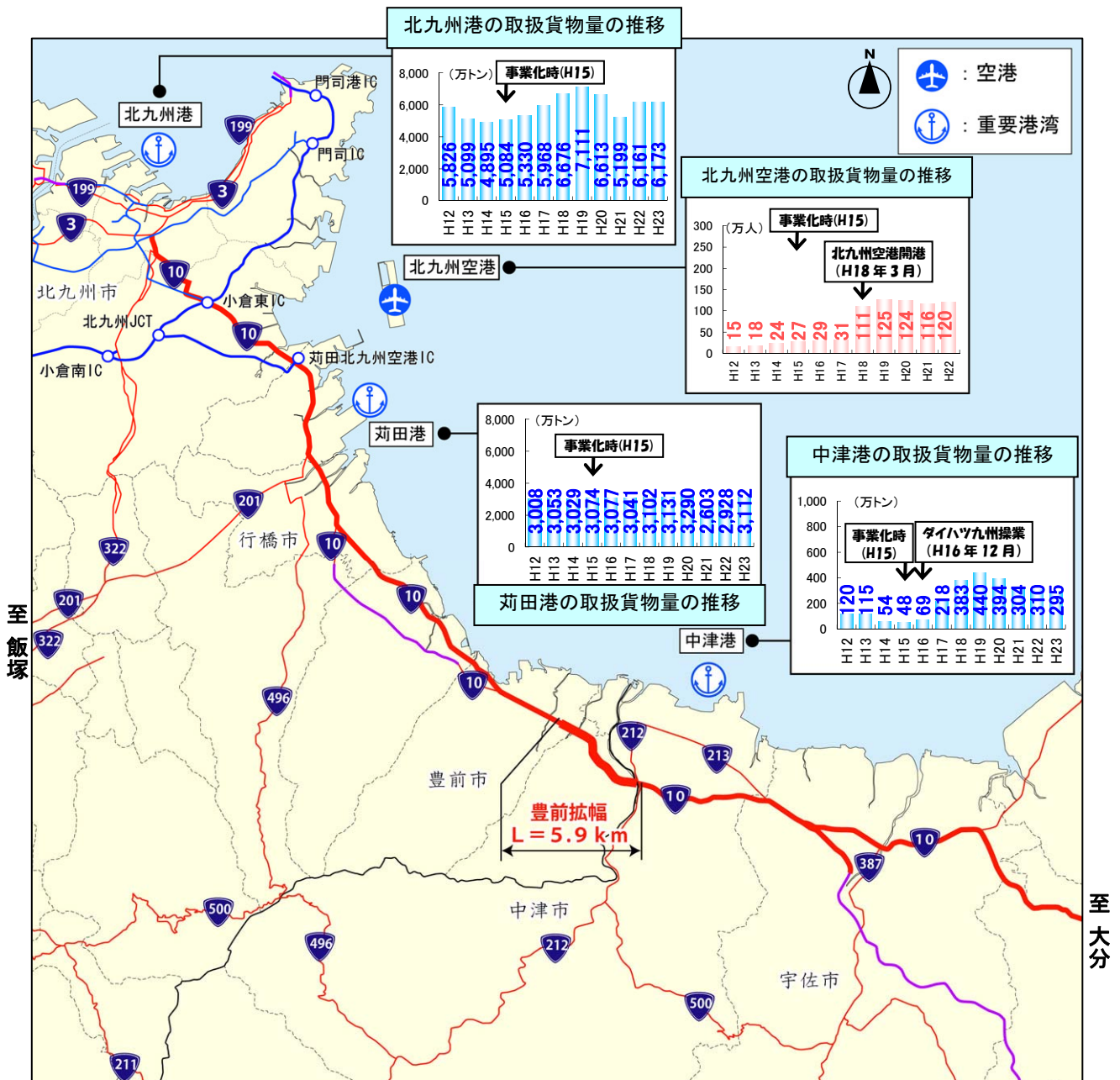


資料：岸井 [道路交通センサス (H2～H22)]
八ツ並 [事務所観測交通量 (H21.7 H22.5 H24.11)]
下唐原 [道路交通センサス (H6～H22), 事務所観測交通量 (H24.11)]

(2) 事業の効果・必要性

効果1：広域交通拠点の連携

- ・国道10号沿線には、北九州港、苅田港、中津港の重要港湾、北九州空港などの広域交通拠点が立地している。
- ・平成16年12月に大手自動車メーカーであるダイハツ九州が操業開始して以降、中津港の取扱貨物量が大幅に増加しており、豊前拡幅は、これら広域交通拠点の連絡強化に貢献することが期待される。



資料：港湾統計（年報）

数字で見る航空 国土交通省航空局

▲ 国道10号沿線（北九州市～大分県間）の広域交通拠点

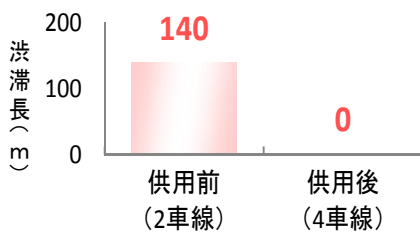
効果2：交通混雑の緩和（既に発現した効果）

・平成24年11月の4車線化に伴い、渋滞が発生していた大池公園入口交差点の渋滞解消が図られている。

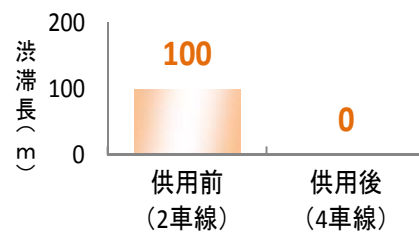


■渋滞長の変化(H24.11 大池公園入口～唐原間 4車線化)

【朝ピーク時(北九州→大分)】



【夕ピーク時(北九州←大分)】



供用前調査：H24年10月21日(日)，供用後調査：H24年11月24日(土)



写真①



写真②

▲ 大池公園入口交差点の交通混雑解消状況

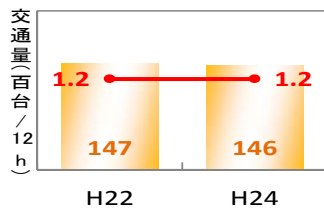
効果2：交通混雑の緩和（今後期待される効果）

- ・事業中区間の混雑度は1.2~1.5と高く、特に休日夕ピーク時の旅行速度は20km/h未滿と走行性が低い。（道路利用者アンケートにおいても「渋滞」と実感）
- ・4車線化により、交通混雑の解消や走行性の向上が期待できる。

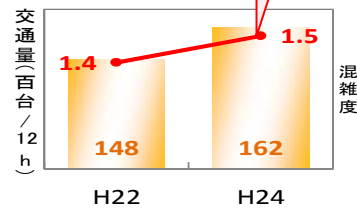


■事業中区間の交通状況

【平日】

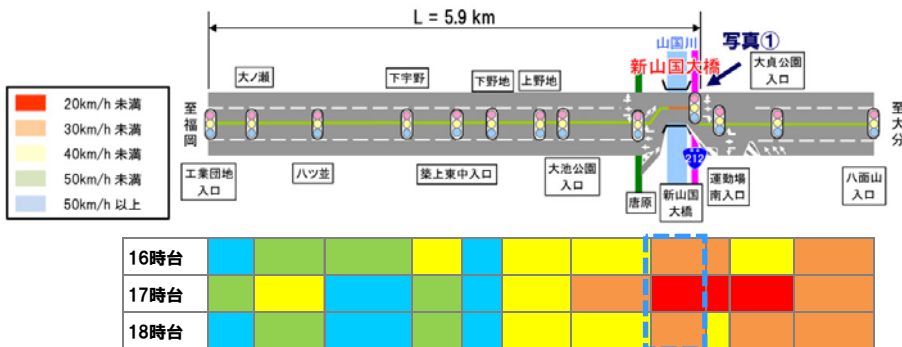


【休日】



注)休日混雑度はH17センサス休日容量にて試算 出典:道路交通センサス(H22)・事務所観測交通量(H24)

■事業中区間の走行性



夕ピーク時に事業中区間で速度低下が発生

出典:民間プローブデータ(H24.11(休日平均))



事業中区間で「混雑・渋滞」を感じている人が全体の約9割 (37人/41人)

出典:ヒアリング調査結果(H24.11.24(土))

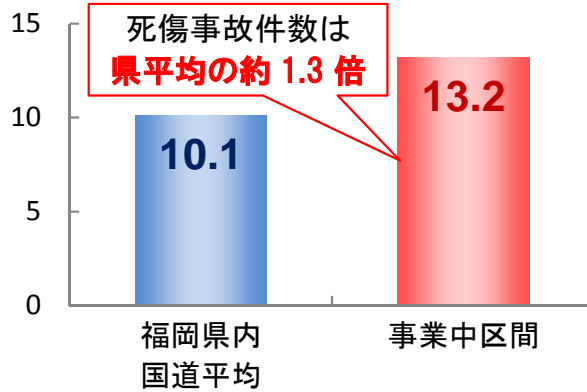
効果3：交通安全性の向上

- ・事業中区間（2車線）では、福岡県内の国道平均に比べ、追突事故を中心とした死傷事故が多く、また、重大事故の発生割合も高い。
- ・完成4車線化に伴い、交通混雑の緩和による交通安全性の向上が期待できる。



【死傷事故件数】

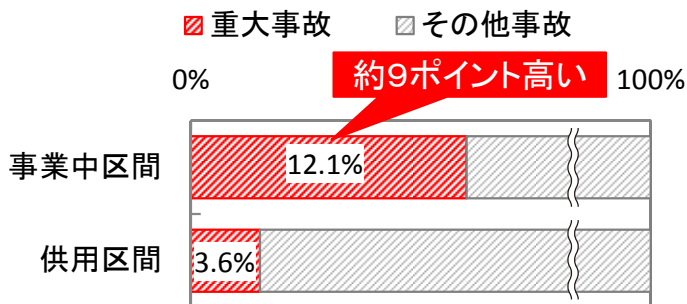
(件/km・年)



▲ 1kmあたりの死傷事故件数

出典：交通事故統合データベース(H18～H22)

【重大事故発生割合】

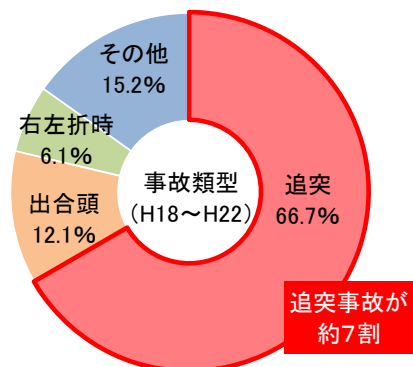


※重大事故：死者又は重傷者を生じた事故

▲ 重大事故の発生割合

出典：交通事故統合データベース(H18～H22)

【事故類型】



▲ 事業中区間の事故類型

出典：交通事故統合データベース(H18～H22)

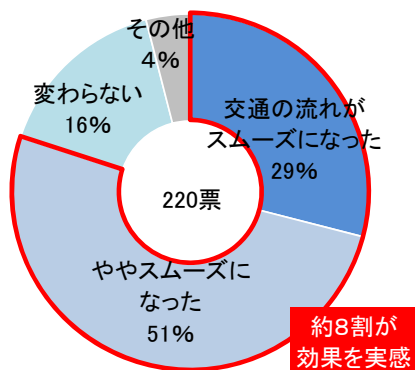
効果4：観光による地域活性化

- ・国道10号は、北九州市と大分方面を連絡しており、別府・大分や中津、宇佐、耶馬溪など主要な観光地を結んでいる。
- ・豊前拡幅の整備により北九州市から大分方面への主要な観光地へのアクセス機能の向上が図られるなど、観光振興の支援が期待される。



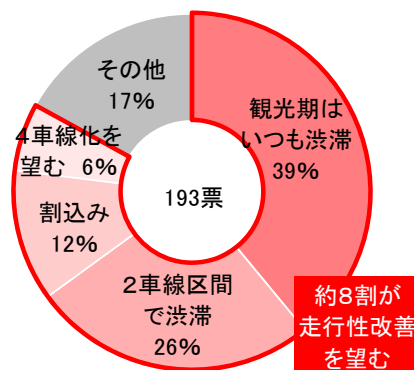
■既に発現した効果

【4車線化区間に対する評価】



■今後改善が期待される課題

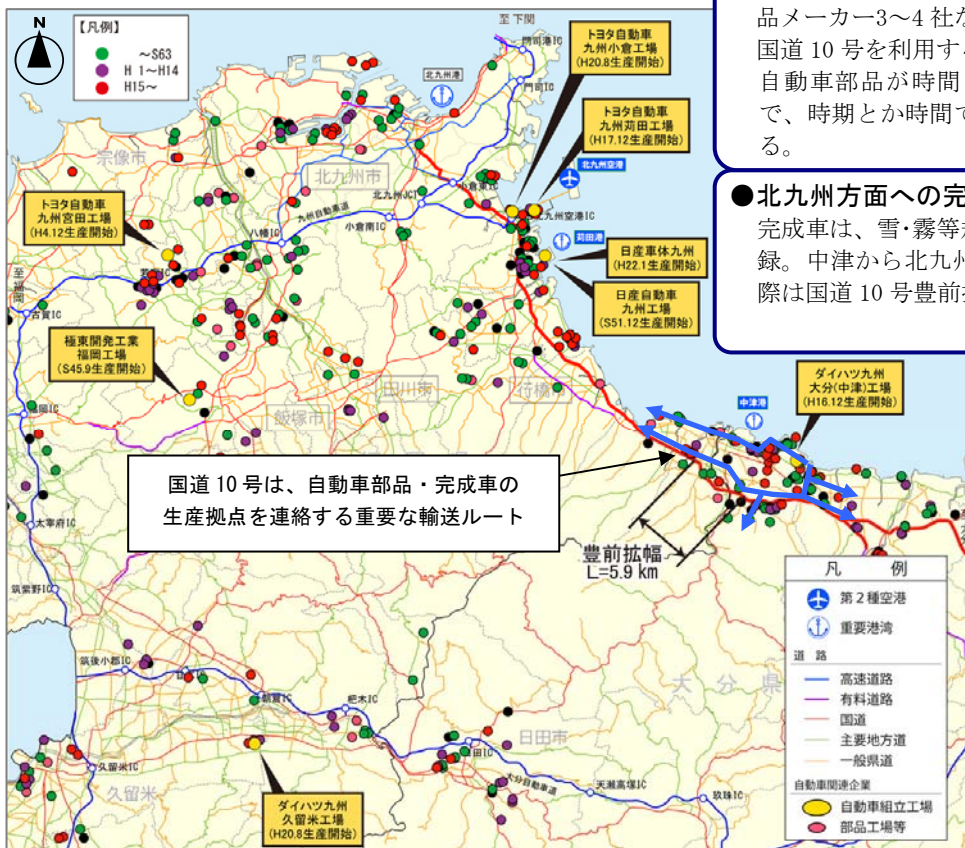
【事業中区間に対する評価】



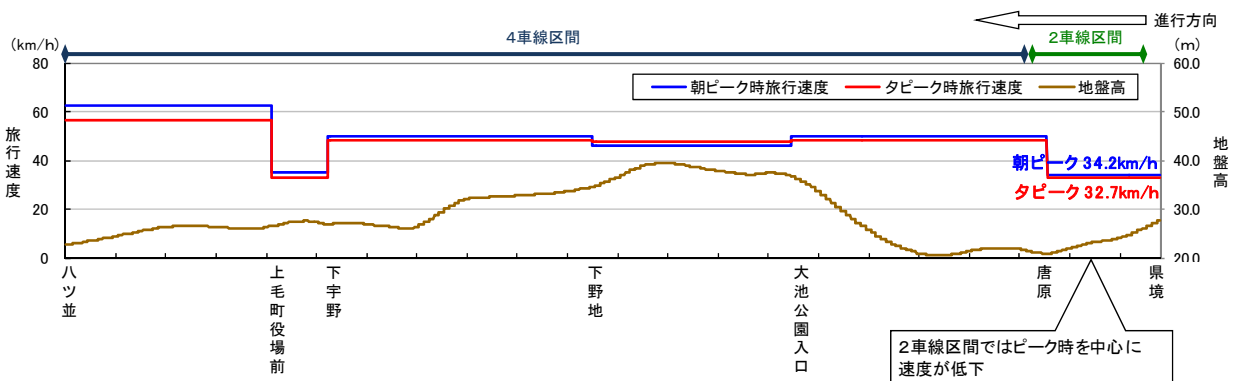
▲ 沿線観光施設（太平楽）利用者へのヒアリング調査結果 [実施日：H24.11.24]

効果5：物流効率化の支援

- 自動車部品工場は、福岡県北東部や大分県北部にも立地している。福岡県では、アジアをリードする次世代自動車を含めた一大生産拠点の構築を目指して「地元調達率70%」「自動車生産180万台」「新たな自動車社会のモデル提案・発信拠点」「自動車先端人材集積拠点」の4つの目標からなる「北部九州自動車産業アジア先進拠点プロジェクト」を推進している。
- 北部九州地域に集積する自動車関連企業の経済活動を支援するため、豊前拡幅整備による定時性の向上やそれに伴う輸送コストの低減、生産性の向上など主に物流面における交通基盤強化が期待される。



▲ 自動車関連企業及び主な輸送経路



▲ 上り線（中津方面⇒北九州方面）の区間別旅行速度【平日】

効果6：地域連携の支援

- ・中津市と周辺自治体では、地域全体における定住環境の向上を目的とした定住自立圏の形成に取り組んでいる中、豊前拡幅は、豊前市・上毛町と中津市を結び小児救急や圏域内外の住民との交流などに貢献することが期待される。

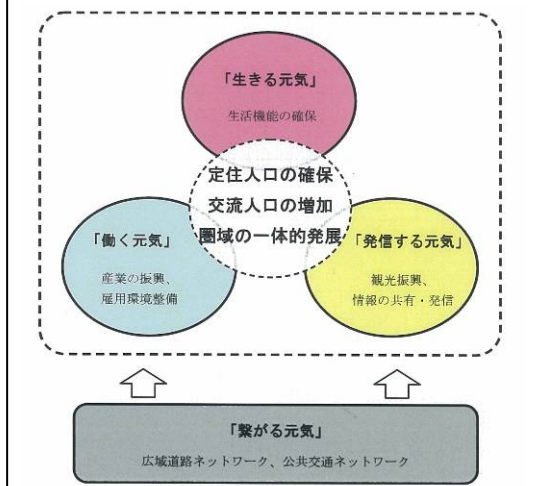


▲ 九州周防灘地域定住自立圏の構成自治体

《九州周防灘地域定住自立圏共生ビジョンの主な内容》

◆圏域の将来イメージ

＜暮らしの元気があふれる地方圏域＞

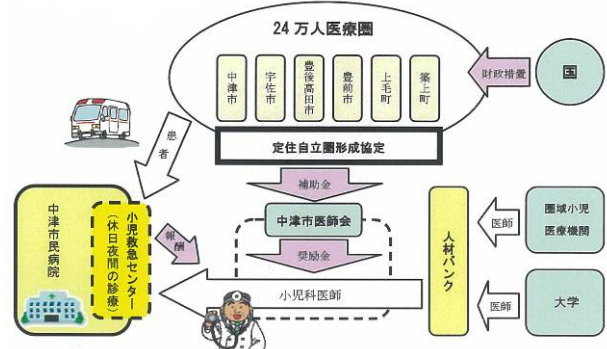


◆具体的取り組み

1. 生活機能の強化
 - ①小児救急医療体制の確保
 - ②スポーツの振興
 - ③勤労者福利厚生対策
 - ④産業の振興
2. 結びつきやネットワークの強化
 - ①公共交通
 - ②定住・移住促進
 - ③圏域内外の住民との交流
 - ④広域道路網の整備
3. 圏域マネジメント能力の強化

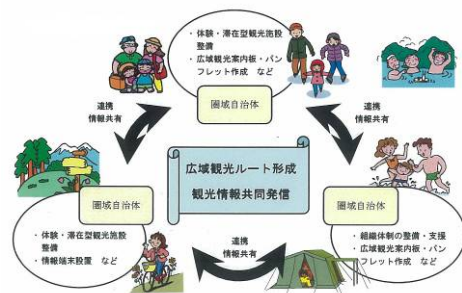
【小児救急医療体制の確保】

- ・圏域で24時間365日受診可能な小児科救急医療体制を確保する。



【圏域内外の住民との交流】

- ・圏域の交通ネットワークを活用した広域観光ネットワークを形成し、圏域の観光振興及び圏域内外の住民との交流を推進する。



【広域道路網の整備】

- ・広域道路網アクセス道路等整備
- ・拠点施設アクセス道路整備
- ・広域道路網建設促進事業

資料：九州周防灘地域定住自立圏共生ビジョン
(H22年度～H26年度) 中津市

■小児救急医療体制の構築支援

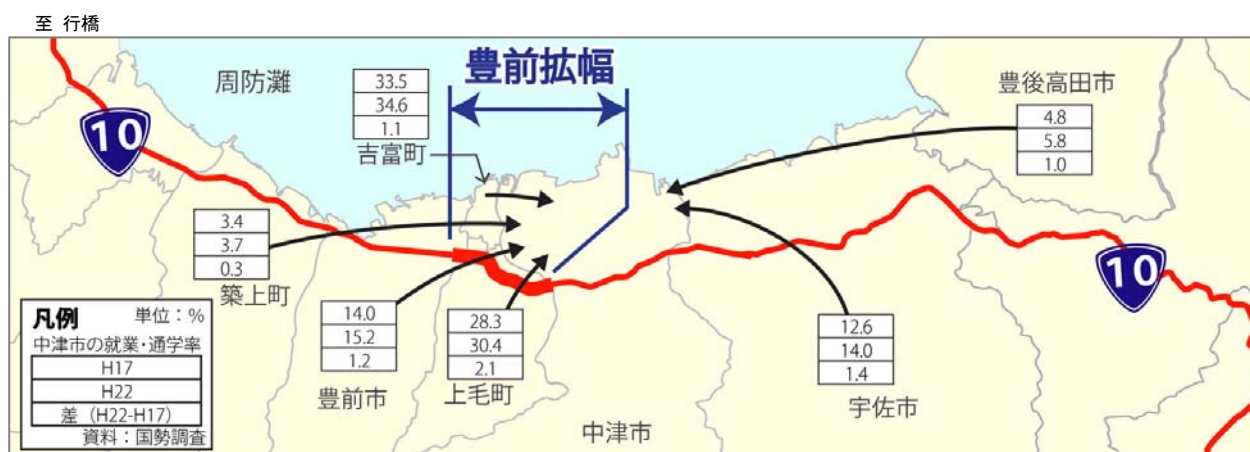
- ・現状において、中津市の中津市民病院は周辺市町村からの外来小児患者の多くを受け入れており、当該地域の小児医療における中心として機能している。
- ・今後、豊前拡幅が完成することにより、更なる小児救急医療体制の構築支援が期待される。



▲ 中津市民病院における小児患者数（外来）の居住地内訳

■定住環境の形成支援（就業・通学面）

- ・周辺市町村から中津市への就業・通学率が近年増加傾向にあり、当該地域における中心都市としての機能向上が図られている。
- ・今後、豊前拡幅が完成することにより、中津市と周辺自治体の連携促進が図られ、定住人口の維持・増大等が期待される。



▲ 中津市への就業・通学率の変化

(3) 事業の投資効果

1) 事業の目的

豊前拡幅は、国道 10 号の混雑緩和及び円滑な交通を図るとともに、地域の交流連携を支援し、物流効率化、観光の支援等、地域の活性化に寄与することを目的とした事業である。

2) 費用便益分析結果【残事業】

①便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成 25 年度			
供用年	平成 30 年度			
初年便益	1.4 億円	0.11 億円	0.02 億円	1.5 億円
基準年における 現在価値 (B)	25 億円	2.0 億円	0.34 億円	27 億円

②費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 25 年度		
単純合計	23 億円	4.0 億円	27 億円
基準年における 現在価値 (C)	20 億円	1.5 億円	22 億円

③評価指標の算定結果

費用便益比 (CBR)	$B/C = 1.2$
-------------	-------------

※費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

※便益の算定については、「将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映

3) 費用便益分析結果【全事業】

①便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成 25 年度			
供用年	平成 18 年度			
初年便益	0.37 億円	0.08 億円	0.03 億円	0.48 億円
基準年における 現在価値 (B)	101 億円	8.4 億円	12 億円	122 億円

②費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 25 年度		
単純合計	57 億円	42 億円	100 億円
基準年における 現在価値 (C)	61 億円	22 億円	83 億円

③評価指標の算定結果

費用便益比 (CBR)	$B/C = 1.5$
-------------	-------------

※費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

※便益の算定については、「将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映

(4) 事業の進捗状況

1) 事業の経緯

年度	経緯
平成 15 年度	事業化、工事着手
平成 17 年度	H18. 2. 15 工業団地入口～大野瀬間 L=0. 2km (4/4) 供用
平成 20 年度	H21. 3. 27 大野瀬～ハツ並間 L=1. 2km (4/4) 供用
平成 21 年度	H21. 11. 25 ハツ並～下宇野間 L=1. 1km (4/4) 供用 H22. 3. 26 下宇野～下野地間 L=1. 0km (4/4) 供用
平成 23 年度	H23. 12. 27 下野地～大池公園入口間 L=0. 9km (4/4) 供用
平成 24 年度	H24. 11. 9 大池公園入口～唐原間 L=1. 0km (4/4) 供用



年度	工業団地入口～ハツ並 (L=1.4km)	ハツ並～下宇野 (L=1.1km)	下宇野～下野地 (L=1.0km)	下野地～新山国大橋 (L=2.4km)
H15	工事着手			
H16	↓			
H17	供用開始			
H18				
H19				
H20	供用開始	工事着手		
H21		供用開始	工事着手 供用開始	
H22				
H23				工事着手
H24			前回評価(H22)以降の供用区間	供用開始
H25				供用開始



写真①: 下宇野交差点付近



写真②: 大池公園入口交差点付近



写真③: 唐原交差点付近

2) 事業費の進捗状況

項目	全体事業費	平成 24 年度末進捗	進捗率
事業費	約 60 億円	約 36 億円	約 60%

注) 進捗率は事業費ベース

3) 前回の評価時との比較

項目		前回評価 (H22 年度)	今回評価 (H25 年度)
延長		5.9km	5.9km
計画交通量		① 18,600台/日 ② 13,000台/日	① 26,100台/日 ② 17,600台/日
事業費 (現在価値化後)		約 60 億円 (約 49 億円)	約 60 億円 (約 61 億円)
B/C	残事業	1.6 $\left[= \frac{40 \text{ 億円}}{26 \text{ 億円}} \right]$	1.2 $\left[= \frac{27 \text{ 億円}}{22 \text{ 億円}} \right]$
	全事業	1.5 $\left[= \frac{107 \text{ 億円}}{74 \text{ 億円}} \right]$	1.5 $\left[= \frac{122 \text{ 億円}}{83 \text{ 億円}} \right]$

※ [] 書き上段：現在価値化後の便益、下段：現在価値化後のコスト

4) 事業費増額の理由

	前回評価 (H22 年度)	今回評価 (H25 年度)	変更内容	理由
事業費	約 60 億円	約 60 億円	事業費の変動なし	—

3. 事業の進捗の見込み

(1) 今後の事業の見通し

平成24年度末までの事業進捗率は、事業費ベースで約60%であり、引き続き残工事等の事業進捗を図っていく。

(2) 地域の協力体制

下記の組織において、国及び関係機関に対し、積極的な要望活動が実施されている。

◆ 期成会・連合会等

名称	主な構成メンバー	活動内容
東九州自動車道 福岡県北東部 建設推進協議会 会長：行橋市長	【2市5町】 行橋市 豊前市 苅田町 築上町 みやこ町 吉富町 上毛町	・東九州道等と合わせて豊前拡幅を含む 国道10号の事業促進 H23.08.17 地整要望 H23.11.12 促進大会 H24.07.11 地整要望
北大経済圏構想 推進協議会 会長：大分商工 会議所会頭	【14商工会】 北九州商工会議所 みやこ町商工会 大分商工会議所 大分県商工会連合会 苅田商工会議所 行橋商工会議所 豊前商工会議所 吉富町商工会 別府商工会議所 中津商工会議所 豊後高田商工会議所 宇佐商工会議所 椎田町商工会 上毛町商工会	・東九州道等と合わせて国道10号の事業 促進 H23.12.02 地整要望 H24.12.14 地整要望

◆ 協力体制

名称	業務内容
豊前市	・豊前拡幅に関わる事務調整（地元対応及び地域情報窓口）
上毛町	

(3) 環境・景観への取り組み状況

○景観への配慮

豊前市及び上毛町は、京築広域景観テーマ協定（行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町など2市5町）の対象地域として、景観まちづくりに取り組んでいる。

沿道緑化対策などについては、周辺環境と調和した整備を行う。

【豊前拡幅(上毛町下宇野)】



【豊前拡幅(上毛町唐原)】



▲ 植栽の状況

4. コスト縮減や代替案立案等

○コスト縮減

事業実施にあたっては、新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。

○代替案立案等

当該事業は、現在までに 5.9km のうち既に 5.4km が完成している。本事業は、地形条件、集落等のコントロールポイントや、利便性、経済性等を総合的に勘案した拡幅事業として整備を進めており、今後の事業計画における事業手法、施設規模について現在の計画が妥当である。

5. 対応方針（原案）

【 事業継続 】

- 豊前拡幅は、国道 10 号における交通混雑の緩和を図るとともに、北九州方面と大分方面間の円滑な連携を支援し、地域の活性化などに寄与する事業である。
- 費用対効果についても十分高い事業である。
- 事業進捗率は、事業費ベースで約 60% [約 36 億円／約 60 億円]（平成 24 年度末）、そのうち用地進捗率は 100%となっている。
- なお、豊前市や上毛町が地元協議の連絡調整を行うなど、地元自治体等からの支援も頂いており、今後の円滑な事業執行が可能である。
- よって、当該事業の完成供用に向けて事業を継続することとしたい。

卷 末 資 料

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道10号 豊前拡幅
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指標	指標チャエツクの根拠
前提条件	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 1.5 (経済的純現在価値 (B-C) = 39億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 8.4%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 1.2 (経済的純現在価値 (B-C) = 5億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 5.3%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チャエツクの根拠
1. 活力 円滑なまどり テリの確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 現道等の年間法海損失時間及び削減率 □ 現道等における遅延時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される □ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される □ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する □ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる □ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる 	区間b (当該区間/並行区間) について：国道10号豊前拡幅区間 (唐原～新山国へ橋交差点) 当該区間等の渋滞損失時間 (現状)：8.2万人・時間/年 (国道10号) 当該区間等の渋滞損失削減率：約6割削減 (国道10号)
物流効率化の支援	<ul style="list-style-type: none"> □ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる □ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上 □ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する 	

1. 活力	都市の専生	<p><input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する</p> <p><input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり</p> <p><input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km²以下である市街地内での事業である</p> <p><input type="checkbox"/> D/D区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する</p> <p><input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる</p> <p><input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A路線)としての位置づけ有り</p> <p><input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される</p> <p><input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である</p> <p><input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる</p> <p><input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づき特定道路が新たにバリアフリー化される</p> <p><input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り</p> <p><input type="checkbox"/> 市街地又は歴史・風土保存地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する</p> <p><input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる</p>
2. 暮らし	個性ある地域の形成	<p><input type="checkbox"/> 無電柱化による美しい町並みの形成</p> <p><input type="checkbox"/> 安全で安心して暮らすの確保</p>
		<p>国道10号(広域道路 地域形成型)</p> <p>北九州市(北九州地方生活圏中心都市)⇔中津市(中津・下毛2次生活圏中心都市)を最短時間で連絡する路線を構成する</p> <p>九州圏防灘地専定住自立圏共生ビジョン(中津市)</p> <p>アクセス向上が期待される観光地: 那馬湊(中津市) (北九州市⇔中津市那馬湊 約3分短縮 [整備前91分⇒整備後88分]: 国道10号豊前広福区間[工業団地入口~新山国大橋交差点])</p>

3. 安全	安全な生活環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通字路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通字路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される <input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する 	
	災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業6ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり <input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する <input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A 路線としての位置づけがある場合） <input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は地震対策緊急整備事業6ヶ年計画に位置づけのある路線（A 路線として位置づけがある場合） <input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する <input type="checkbox"/> 遊離路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する <input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する <input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす 	<p>国道10号：緊急輸送道路ネットワーク計画において、第一次緊急輸送道路に位置付けられている</p>
4. 環境	地球環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO₂排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO₂排出削減率 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率 <input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある <input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される <input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり <input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる 	<p>CO₂排出削減量：104t-CO₂/年（残事業） 422t-CO₂/年（全事業）</p> <p>評価対象区間（現道等）：国道10号豊前広幅区間（工業団地入口交差点～新山園大橋交差点） 排出削減量：0.4t-NO_x/年、排出削減率：約1割削減（残事業） 1.3t-NO_x/年、排出削減率：約1割削減（全事業）</p> <p>評価対象区間（現道等）：国道10号豊前広幅区間（工業団地入口交差点～新山園大橋交差点） 排出削減量：0.03t-SPM/年、排出削減率：約1割削減（残事業） 0.09t-SPM/年、排出削減率：約1割削減（全事業）</p>
5. その他	他のプログラムとの関係		

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
国道10号	豊前拡幅	5.9km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
17,600~26,100	4	九州地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成25年度		
単純合計	57億円	42億円	100億円
うち残事業分	23億円	4.0億円	27億円
基準年における 現在価値 (C)	61億円	22億円	83億円
うち残事業分	20億円	1.5億円	22億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成25年度			
供用年	平成18年度			
単年便益 (初年便益)	0.37億円	0.08億円	0.03億円	0.48億円
基準年における 現在価値 (B)	101億円	8.4億円	12億円	122億円
うち残事業分	25億円	2.0億円	0.34億円	27億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.5
経済的純現在価値（事業全体）	39 億円
経済的内部収益率（事業全体）	8.4 %
費用便益比（残事業）	1.2
経済的純現在価値（残事業）	5 億円
経済的内部収益率（残事業）	5.3 %

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （ 残 事 業 を 対 象 ）

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	17,600~26,100	±10%	1.3 ~ 1.6
事業費	57億円	±10%	1.4 ~ 1.5
事業期間	15年	±20%	1.5 ~ 1.5

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	20,000	±10%	1.2 ~ 1.3
事業費	23億円	±10%	1.1 ~ 1.4
事業期間	4年	±20%	1.2 ~ 1.3

交通状況の変化

様式-3①

事業名：国道10号 豊前拡幅

(推計時点 H42年) (事業全体)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 豊前拡幅 (供用区間) : 5.4km	交通量	[台/日]	18,600	20,400	
	走行時間	[分]	7.6	6.7	
	走行時間費用	[億円/年]	27	26	
①新設・改築道路 豊前拡幅 (事業中区間) : 0.5km	交通量	[台/日]	17,900	20,000	
	走行時間	[分]	0.77	0.60	
	走行時間費用	[億円/年]	2.7	2.3	
②主な周辺道路	現道(国道10号) : 26.9km	交通量	[台/日]	21,500	22,200
		走行時間	[分]	39	39
		走行時間費用	[億円/年]	165	168
	国道212号 2.4km	交通量	[台/日]	14,400	14,200
		走行時間	[分]	3.7	3.7
		走行時間費用	[億円/年]	9.3	9.1
	(主)吉富本耶馬溪線 3.9km	交通量	[台/日]	3,300	2,700
		走行時間	[分]	5.8	5.8
		走行時間費用	[億円/年]	3.5	2.8
	(主)中津高田線 12.0km	交通量	[台/日]	9,800	9,400
		走行時間	[分]	17	17
		走行時間費用	[億円/年]	29	28
	(県)中津豊前線 7.9km	交通量	[台/日]	13,300	12,500
		走行時間	[分]	13	12
		走行時間費用	[億円/年]	30	28
③その他道路合計: 3,143.8km	走行時間費用	[億円/年]	6,597	6,597	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 3,202.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,864	6,860	3.9

事業名： 国道10号 豊前拡幅



交通状況の変化

様式-3①

事業名： 国道10号 豊前拡幅

(推計時点 H42年) (残事業)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 豊前拡幅 (供用区間) : 5.4km	交通量	[台/日]	20,200	20,400	
	走行時間	[分]	6.7	6.7	
	走行時間費用	[億円/年]	26	26	
①新設・改築道路 豊前拡幅 (事業中区間) : 0.5km	交通量	[台/日]	19,000	20,000	
	走行時間	[分]	0.79	0.60	
	走行時間費用	[億円/年]	2.9	2.3	
②主な周辺道路	現道(国道10号) : 26.9km	交通量	[台/日]	22,000	22,200
		走行時間	[分]	39	39
		走行時間費用	[億円/年]	167	168
	国道212号 2.4km	交通量	[台/日]	14,300	14,200
		走行時間	[分]	3.7	3.7
		走行時間費用	[億円/年]	9.1	9.1
	(主)吉富本耶馬溪線 3.9km	交通量	[台/日]	3,500	2,700
		走行時間	[分]	5.8	5.8
		走行時間費用	[億円/年]	3.7	2.8
	(主)中津高田線 12.0km	交通量	[台/日]	9,400	9,400
		走行時間	[分]	17	17
		走行時間費用	[億円/年]	28	28
	(県)中津豊前線 7.9km	交通量	[台/日]	12,500	12,500
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	28	28
③その他道路合計: 3,143.8km	走行時間費用	[億円/年]	6,597	6,597	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 3,202.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,862	6,860	1.4

事業名： 国道10号 豊前拡幅



費用便益分析の条件

事業名：国道10号 豊前拡幅

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成25年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input type="checkbox"/> ()
		複数時点での推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H17,H42)
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ推計の場合		いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()		<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量程度の路線などが混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生じる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
採用理由を記載			
その他()		<input type="checkbox"/>	

(3)

		項目	チェック欄	
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行 経費減少・交通事故 減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名：国道10号 豊前拡幅

(4)

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input checked="" type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費(過去3年間:H22~H24)に基づく	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			

費用の現在価値算定表

箇所名：国道10号 豊前拡幅(事業全体)				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)					
				単価(億円)		延長(km)		単純単価(億円)	
				0.17		5.9		1.00	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)			
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価		
-3年目	H 15	1.4802	102.3	4.14	5.52				
-2年目	H 16	1.4233	101.0	0.10	0.13				
-1年目	H 17	1.3686	99.6	1.43	1.81				
供用開始年次	H 18	1.3159	98.7	6.57	8.07	0.03	0.04		
1年目	H 19	1.2653	97.6	5.52	6.60	0.03	0.04		
2年目	H 20	1.2167	96.8	2.65	3.06	0.03	0.04		
3年目	H 21	1.1699	95.6	5.44	6.13	0.23	0.25		
4年目	H 22	1.1249	93.7	2.90	3.21	0.56	0.62		
5年目	H 23	1.0816	92.1	2.86	3.09	0.56	0.61		
6年目	H 24	1.0400	92.1	2.76	2.87	0.56	0.59		
7年目	H 25	1.0000	92.1	0.38	0.38	0.87	0.87		
8年目	H 26	0.9615	92.1	3.29	3.16	0.87	0.83		
9年目	H 27	0.9246	92.1	6.00	5.55	0.87	0.80		
10年目	H 28	0.8890	92.1	7.62	6.77	0.87	0.77		
11年目	H 29	0.8548	92.1	5.80	4.96	0.87	0.74		
12年目	H 30	0.8219	92.1			0.95	0.78		
13年目	H 31	0.7903	92.1			0.95	0.75		
14年目	H 32	0.7599	92.1			0.95	0.72		
15年目	H 33	0.7307	92.1			0.95	0.69		
16年目	H 34	0.7026	92.1			0.95	0.67		
17年目	H 35	0.6756	92.1			0.95	0.64		
18年目	H 36	0.6496	92.1			0.95	0.62		
19年目	H 37	0.6246	92.1			0.95	0.59		
20年目	H 38	0.6006	92.1			0.95	0.57		
21年目	H 39	0.5775	92.1			0.95	0.55		
22年目	H 40	0.5553	92.1			0.95	0.53		
23年目	H 41	0.5339	92.1			0.95	0.51		
24年目	H 42	0.5134	92.1			0.95	0.49		
25年目	H 43	0.4936	92.1			0.95	0.47		
26年目	H 44	0.4746	92.1			0.95	0.45		
27年目	H 45	0.4564	92.1			0.95	0.43		
28年目	H 46	0.4388	92.1			0.95	0.42		
29年目	H 47	0.4220	92.1			0.95	0.40		
30年目	H 48	0.4057	92.1			0.95	0.38		
31年目	H 49	0.3901	92.1			0.95	0.37		
32年目	H 50	0.3751	92.1			0.95	0.36		
33年目	H 51	0.3607	92.1			0.95	0.34		
34年目	H 52	0.3468	92.1			0.95	0.33		
35年目	H 53	0.3335	92.1			0.95	0.32		
36年目	H 54	0.3207	92.1			0.95	0.30		
37年目	H 55	0.3083	92.1			0.95	0.29		
38年目	H 56	0.2965	92.1			0.95	0.28		
39年目	H 57	0.2851	92.1			0.95	0.27		
40年目	H 58	0.2741	92.1			0.95	0.26		
41年目	H 59	0.2636	92.1			0.95	0.25		
42年目	H 60	0.2534	92.1			0.95	0.24		
43年目	H 61	0.2437	92.1			0.95	0.23		
44年目	H 62	0.2343	92.1			0.95	0.22		
45年目	H 63	0.2253	92.1			0.95	0.21		
46年目	H 64	0.2166	92.1			0.95	0.21		
47年目	H 65	0.2083	92.1			0.95	0.20		
48年目	H 66	0.2003	92.1			0.95	0.19		
49年目	H 67	0.1926	92.1			0.95	0.18		
合計				57.46	61.31	42.38	21.91		
単純事業費計				57.46		42.38			

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算
制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道10号 豊前拡幅(残事業)

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.17	0.5	0.09	
-4年目	H 26	0.9615	92.1	3.29	3.16		
-3年目	H 27	0.9246	92.1	6.00	5.55		
-2年目	H 28	0.8890	92.1	7.62	6.77		
-1年目	H 29	0.8548	92.1	5.80	4.96		
供用開始年次	H 30	0.8219	92.1			0.08	0.07
1年目	H 31	0.7903	92.1			0.08	0.06
2年目	H 32	0.7599	92.1			0.08	0.06
3年目	H 33	0.7307	92.1			0.08	0.06
4年目	H 34	0.7026	92.1			0.08	0.06
5年目	H 35	0.6756	92.1			0.08	0.05
6年目	H 36	0.6496	92.1			0.08	0.05
7年目	H 37	0.6246	92.1			0.08	0.05
8年目	H 38	0.6006	92.1			0.08	0.05
9年目	H 39	0.5775	92.1			0.08	0.05
10年目	H 40	0.5553	92.1			0.08	0.04
11年目	H 41	0.5339	92.1			0.08	0.04
12年目	H 42	0.5134	92.1			0.08	0.04
13年目	H 43	0.4936	92.1			0.08	0.04
14年目	H 44	0.4746	92.1			0.08	0.04
15年目	H 45	0.4564	92.1			0.08	0.04
16年目	H 46	0.4388	92.1			0.08	0.04
17年目	H 47	0.4220	92.1			0.08	0.03
18年目	H 48	0.4057	92.1			0.08	0.03
19年目	H 49	0.3901	92.1			0.08	0.03
20年目	H 50	0.3751	92.1			0.08	0.03
21年目	H 51	0.3607	92.1			0.08	0.03
22年目	H 52	0.3468	92.1			0.08	0.03
23年目	H 53	0.3335	92.1			0.08	0.03
24年目	H 54	0.3207	92.1			0.08	0.03
25年目	H 55	0.3083	92.1			0.08	0.02
26年目	H 56	0.2965	92.1			0.08	0.02
27年目	H 57	0.2851	92.1			0.08	0.02
28年目	H 58	0.2741	92.1			0.08	0.02
29年目	H 59	0.2636	92.1			0.08	0.02
30年目	H 60	0.2534	92.1			0.08	0.02
31年目	H 61	0.2437	92.1			0.08	0.02
32年目	H 62	0.2343	92.1			0.08	0.02
33年目	H 63	0.2253	92.1			0.08	0.02
34年目	H 64	0.2166	92.1			0.08	0.02
35年目	H 65	0.2083	92.1			0.08	0.02
36年目	H 66	0.2003	92.1			0.08	0.02
37年目	H 67	0.1926	92.1			0.08	0.02
38年目	H 68	0.1852	92.1			0.08	0.01
39年目	H 69	0.1780	92.1			0.08	0.01
40年目	H 70	0.1712	92.1			0.08	0.01
41年目	H 71	0.1646	92.1			0.08	0.01
42年目	H 72	0.1583	92.1			0.08	0.01
43年目	H 73	0.1522	92.1			0.08	0.01
44年目	H 74	0.1463	92.1			0.08	0.01
45年目	H 75	0.1407	92.1			0.08	0.01
46年目	H 76	0.1353	92.1			0.08	0.01
47年目	H 77	0.1301	92.1			0.08	0.01
48年目	H 78	0.1251	92.1			0.08	0.01
49年目	H 79	0.1203	92.1			0.08	0.01
				22.70	20.44	4.02	1.46
				22.70		4.02	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：国道10号 豊前拡張(事業全体)

年度 (暦年)	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州7中)			GDP テラレタ	現在価値 (1)×(A)			走行経費減少便益(億円)			現在価値 (A)×(2)			合 計 (億円)		
	乗用車	小型貨物	全車		乗用車	小型貨物	普通貨物	乗用車	小型貨物	普通貨物	① 計	② 計	③ 計	便益合計 (1)~(3)	現在価値 割引率4%	
H18	0.99763	0.99220	0.99671	0.987	1.3159	0.06	0.11	0.37	0.45	0.03	0.05	0.08	0.04	0.48	0.59	
H19	0.99762	0.99214	0.99670	0.986	1.2653	0.06	0.11	0.37	0.44	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.58	
H20	0.99762	0.99208	0.99669	0.986	1.2167	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H21	0.99761	0.99202	0.99668	0.986	1.1689	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H22	0.99761	0.99195	0.99667	0.986	1.1249	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H23	0.99760	0.99189	0.99665	0.986	1.0816	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H24	0.99760	0.99182	0.99664	0.986	1.0400	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H25	0.99759	0.99175	0.99663	0.986	1.0000	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H26	0.99758	0.99169	0.99662	0.986	0.9615	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H27	0.99758	0.99162	0.99661	0.986	0.9246	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H28	0.99757	0.99155	0.99660	0.986	0.8890	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H29	0.99757	0.99147	0.99659	0.986	0.8548	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H30	0.99756	0.99140	0.99657	0.986	0.8219	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H31	0.99755	0.99133	0.99656	0.986	0.7903	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H32	0.99811	0.99165	0.99922	0.99708	0.7599	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H33	0.99810	0.99158	0.99922	0.99707	0.7307	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H34	0.99810	0.99151	0.99922	0.99706	0.7026	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H35	0.99810	0.99144	0.99922	0.99705	0.6756	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H36	0.99809	0.99136	0.99922	0.99704	0.6496	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H37	0.99809	0.99129	0.99921	0.99704	0.6246	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H38	0.99809	0.99121	0.99921	0.99703	0.6006	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H39	0.99808	0.99113	0.99921	0.99702	0.5775	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H40	0.99808	0.99105	0.99921	0.99701	0.5553	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H41	0.99808	0.99097	0.99921	0.99700	0.5339	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H42	0.99338	0.99360	1.00074	0.99419	0.5134	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H43	0.99333	0.99356	1.00074	0.99416	0.4936	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H44	0.99329	0.99352	1.00074	0.99412	0.4746	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H45	0.99324	0.99348	1.00074	0.99409	0.4564	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H46	0.99320	0.99343	1.00074	0.99406	0.4388	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H47	0.99315	0.99339	1.00074	0.99402	0.4220	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H48	0.99310	0.99335	1.00074	0.99398	0.4057	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H49	0.99305	0.99330	1.00074	0.99395	0.3901	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H50	0.99301	0.99326	1.00074	0.99391	0.3751	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H51	0.99296	0.99321	1.00074	0.99387	0.3607	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H52	0.99291	0.99316	1.00074	0.99384	0.3468	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H53	0.99286	0.99311	1.00074	0.99380	0.3335	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H54	0.99280	0.99307	1.00074	0.99376	0.3207	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H55	0.99275	0.99302	1.00074	0.99372	0.3083	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H56	0.99270	0.99297	1.00074	0.99368	0.2965	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H57	0.99265	0.99292	1.00074	0.99364	0.2851	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H58	0.99259	0.99287	1.00073	0.99360	0.2741	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H59	0.99254	0.99282	1.00073	0.99356	0.2636	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H60	0.99248	0.99277	1.00073	0.99352	0.2534	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H61	0.99242	0.99272	1.00073	0.99347	0.2437	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H62	0.99236	0.99266	1.00073	0.99343	0.2343	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H63	0.99231	0.99261	1.00073	0.99339	0.2253	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H64	0.99225	0.99255	1.00073	0.99334	0.2166	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H65	0.99219	0.99250	1.00073	0.99330	0.2083	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H66	0.99214	0.99244	1.00073	0.99325	0.2003	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
H67	0.99208	0.99238	1.00073	0.99321	0.1926	0.06	0.11	0.37	0.43	0.03	0.05	0.08	0.03	0.48	0.55	
合計(H18~H67)						95.56	41.28	44.50	181.34	101.14	10.79	14.96	23.92	12.39	219.82	121.91

箇所名: 国道10号 豊前拡張(特事業)

便益の現在価値算定表

年度 (暦年)	H25	総走行台キロ0年次別伸び率			GDP デフレータ	現在価値 (①×(A))			走行経費減少便益(億円)			現在価値 (A)×(2)		事抜減少便益(億円) ③×(A)	合計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物	普通貨物		① 計	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	③	便益合計 (①~③)	現在価値 割戻率4%				
1年目	H 30	0.99756	0.99140	0.99657	92.1	0.74	0.29	0.35	1.38	1.13	0.08	0.02	0.09	0.02	0.02	1.51	1.24
2年目	H 31	0.99755	0.99133	0.99656	92.1	0.74	0.29	0.35	1.38	1.09	0.08	0.02	0.09	0.02	0.02	1.51	1.20
3年目	H 32	0.99811	0.99165	0.99822	92.1	0.74	0.29	0.35	1.38	1.05	0.08	0.02	0.08	0.02	0.02	1.51	1.15
4年目	H 33	0.99810	0.99158	0.99822	92.1	0.74	0.29	0.35	1.38	1.01	0.08	0.02	0.08	0.02	0.01	1.51	1.10
5年目	H 34	0.99810	0.99151	0.99822	92.1	0.74	0.29	0.35	1.38	0.97	0.08	0.02	0.08	0.02	0.01	1.51	1.06
6年目	H 35	0.99810	0.99144	0.99822	92.1	0.74	0.29	0.35	1.38	0.93	0.08	0.02	0.07	0.02	0.01	1.51	1.01
7年目	H 36	0.99809	0.99136	0.99822	92.1	0.74	0.29	0.35	1.38	0.90	0.08	0.02	0.07	0.02	0.01	1.51	0.98
8年目	H 37	0.99809	0.99129	0.99821	92.1	0.74	0.29	0.35	1.38	0.86	0.08	0.02	0.07	0.02	0.01	1.51	0.94
9年目	H 38	0.99808	0.99121	0.99821	92.1	0.74	0.29	0.35	1.38	0.83	0.08	0.02	0.07	0.02	0.01	1.51	0.91
10年目	H 39	0.99808	0.99113	0.99821	92.1	0.74	0.29	0.35	1.38	0.80	0.08	0.02	0.06	0.02	0.01	1.51	0.87
11年目	H 40	0.99808	0.99105	0.99821	92.1	0.74	0.29	0.35	1.38	0.77	0.08	0.02	0.06	0.02	0.01	1.51	0.84
12年目	H 41	0.99808	0.99097	0.99821	92.1	0.74	0.29	0.35	1.38	0.74	0.08	0.02	0.06	0.02	0.01	1.51	0.81
13年目	H 42	0.99338	0.99360	1.00074	92.1	0.74	0.29	0.35	1.38	0.71	0.08	0.02	0.06	0.02	0.01	1.51	0.78
14年目	H 43	0.99333	0.99356	1.00074	92.1	0.74	0.29	0.35	1.38	0.68	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.51	0.74
15年目	H 44	0.99329	0.99352	1.00074	92.1	0.74	0.29	0.35	1.38	0.66	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.51	0.72
16年目	H 45	0.99324	0.99348	1.00074	92.1	0.74	0.29	0.35	1.38	0.63	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.51	0.69
17年目	H 46	0.99320	0.99343	1.00074	92.1	0.73	0.29	0.35	1.37	0.60	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.50	0.66
18年目	H 47	0.99315	0.99339	1.00074	92.1	0.73	0.29	0.35	1.37	0.58	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.50	0.64
19年目	H 48	0.99310	0.99335	1.00074	92.1	0.72	0.29	0.35	1.36	0.55	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.49	0.60
20年目	H 49	0.99305	0.99330	1.00074	92.1	0.72	0.29	0.35	1.36	0.53	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.49	0.58
21年目	H 50	0.99301	0.99326	1.00074	92.1	0.71	0.29	0.35	1.35	0.51	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.48	0.56
22年目	H 51	0.99296	0.99321	1.00074	92.1	0.71	0.29	0.35	1.35	0.49	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.48	0.54
23年目	H 52	0.99291	0.99316	1.00074	92.1	0.71	0.29	0.35	1.35	0.47	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.48	0.52
24年目	H 53	0.99286	0.99312	1.00074	92.1	0.70	0.29	0.35	1.34	0.45	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.47	0.50
25年目	H 54	0.99280	0.99307	1.00074	92.1	0.70	0.29	0.35	1.34	0.43	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.47	0.48
26年目	H 55	0.99275	0.99302	1.00074	92.1	0.69	0.29	0.35	1.33	0.41	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.46	0.45
27年目	H 56	0.99270	0.99297	1.00074	92.1	0.68	0.29	0.35	1.32	0.39	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.45	0.43
28年目	H 57	0.99265	0.99292	1.00074	92.1	0.68	0.29	0.35	1.32	0.38	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.45	0.42
29年目	H 58	0.99259	0.99287	1.00073	92.1	0.68	0.29	0.35	1.32	0.36	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.45	0.40
30年目	H 59	0.99254	0.99282	1.00073	92.1	0.67	0.29	0.35	1.31	0.35	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.44	0.39
31年目	H 60	0.99248	0.99277	1.00073	92.1	0.67	0.29	0.35	1.31	0.33	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.44	0.37
32年目	H 61	0.99242	0.99272	1.00073	92.1	0.66	0.29	0.35	1.30	0.32	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.43	0.35
33年目	H 62	0.99236	0.99266	1.00073	92.1	0.65	0.29	0.35	1.29	0.30	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.42	0.33
34年目	H 63	0.99231	0.99261	1.00073	92.1	0.65	0.29	0.35	1.29	0.29	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.42	0.31
35年目	H 64	0.99225	0.99255	1.00073	92.1	0.65	0.29	0.35	1.29	0.28	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.42	0.30
36年目	H 65	0.99219	0.99250	1.00073	92.1	0.64	0.29	0.35	1.28	0.27	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.41	0.29
37年目	H 66	0.99212	0.99244	1.00073	92.1	0.64	0.29	0.35	1.28	0.26	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.41	0.28
38年目	H 67	0.99206	0.99238	1.00073	92.1	0.63	0.29	0.35	1.27	0.24	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.40	0.26
39年目	H 68	0.99200	0.99232	1.00073	92.1	0.63	0.29	0.35	1.26	0.23	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.39	0.25
40年目	H 69	0.99193	0.99227	1.00073	92.1	0.62	0.29	0.35	1.26	0.22	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.39	0.24
41年目	H 70	0.99187	0.99220	1.00073	92.1	0.61	0.29	0.35	1.25	0.21	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.38	0.23
42年目	H 71	0.99180	0.99214	1.00073	92.1	0.61	0.29	0.35	1.25	0.21	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.38	0.23
43年目	H 72	0.99173	0.99208	1.00073	92.1	0.60	0.29	0.35	1.24	0.20	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.37	0.22
44年目	H 73	0.99166	0.99202	1.00073	92.1	0.60	0.29	0.35	1.24	0.19	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.37	0.21
45年目	H 74	0.99159	0.99195	1.00073	92.1	0.59	0.29	0.35	1.23	0.18	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.36	0.20
46年目	H 75	0.99152	0.99189	1.00073	92.1	0.59	0.29	0.35	1.23	0.17	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.36	0.19
47年目	H 76	0.99145	0.99182	1.00073	92.1	0.58	0.29	0.35	1.22	0.17	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.35	0.18
48年目	H 77	0.99138	0.99175	1.00072	92.1	0.58	0.29	0.35	1.22	0.16	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.35	0.17
49年目	H 78	0.99130	0.99169	1.00072	92.1	0.58	0.29	0.35	1.22	0.15	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.35	0.16
合計(H30~H79)	H 79	0.99123	0.99162	1.00072	92.1	0.57	0.29	0.35	1.21	0.15	0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	1.34	0.16
合計						34.01	14.50	17.80	86.01	24.79	4.00	1.00	5.80	2.01	1.00	72.51	27.14

全体事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道10号	豊前拡幅	4	5.9km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					5,640		
	改良費				819		
		土工	m ³	110,000	73	切土(30,000m ³)、盛土(72,000m ³)、捨土(8,000m ³)	
		軟弱地盤改良工	m ³	28,000	105	自走式混合処理、BH混合処理	
		法面工	m ²	21,000	12	切土法面、盛土法面、法面整形	
		擁壁工	式	1	228	プレキャストL型擁壁、大型ブロック積、ブロック積	
		管渠工	m	207	29		
		函渠工	m				
		排水工	m	13,100	223		
		中央分離帯工	m	1,600	20		
		雑工	式	1	129	取壊し工等	
	橋梁費					3,770	
		100m以上	m	456	2,950	PC橋2橋、Me橋1橋	
		100m未満	m	243	820	PC橋7橋	
	トンネル費						
		NATM	m				
		シールド	m				
	IC・JCT費						
		IC	箇所				
		JCT	箇所				
	舗装費					680	
	車道舗装	m ²	48,675	606			
	歩道舗装	m ²	22,950	74			
付帯施設費					371		
	交通管理施設工	式	1	371	信号機移設工、防護柵工、道路照明等		
	遮音壁	m					
②用地及補償費					31		
	用地費		m ²				
	宅地	m ²					
	田畑	m ²					
	山林・原野	m ²					
	その他	m ²					
	補償費	式	1		31		
③間接経費			式	1	359	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等	
全体事業費					6,030		

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

残事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道10号	豊前拡幅	4	0.5km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				2,277	
	改良費				90	
		土工	m ³	100	2	
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²			
		擁壁工	式			
		管渠工	m			
		函渠工	m			
		排水工	m	700	70	
		中央分離帯工	m	300	18	
		雑工	式			
	橋梁費				2,100	
		100m以上	m	202	2,100	新山国大橋(Me)
		100m未満	m			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				60	
		車道舗装	m ²	4,125	45	
		歩道舗装	m ²	1,590	15	
	付帯施設費				27	
		交通管理施設工	式	1	27	防護柵工、道路照明、案内標識等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				30	
	用地費		m ²			
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²			
	補償費		式		30	
③	間接経費		式	1	77	測量、設計にかかる費用及び予備費等
	残事業費				2,384	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道10号	豊前拡幅	4	5.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	5.9	1,015	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	3,435	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			4,450	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

残事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道10号	豊前拡幅	4	0.5km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	0.5	96	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	326	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			422	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。